

佐賀県保育幼児教育

センターだより



佐賀県保育幼児教育センター（佐賀県こども未来課）

☎ 0952(25)7616 Fax0952(25)7339

hy-c@pref.saga.lg.jp

第12号

令和8年9月2日

研修会レポート 「幼児教育から小学校教育への円滑な接続に向けた研修会」(6月8日)

講話:すべてのこどもの
ウェルビーイングをめざして

講師:高松市下笠居こども園 園長 遠藤 智子先生
(元高松市教育委員会高松市総合教育センター所長補佐)



※各市町教育委員会、福祉部局の
担当の皆さんを対象に開催

高松市では「文部科学省幼
保小の架け橋プログラム調
査研究事業」の成果を踏ま
え、今もなお先進的に取り
組まれています。大変参考
になる貴重なお話をうかが
うことができました。

高松市から学ぶ！ 架け橋プログラムのポイント



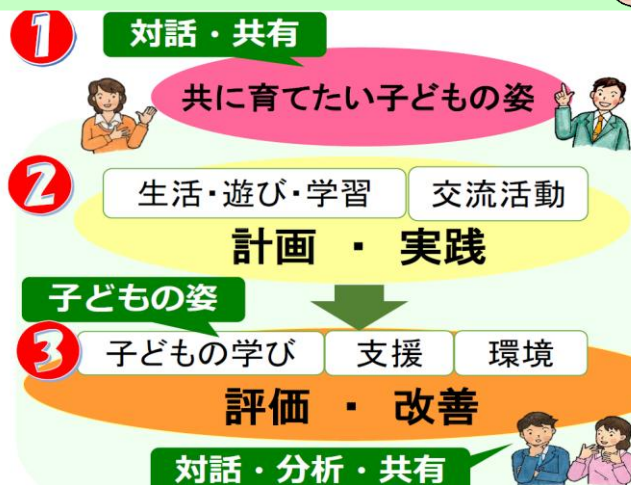
さがっぴい
《佐賀県子育て応援キャラクター》

ポイント① 幼保小の連携・接続の推進に当たって大切にされたこと

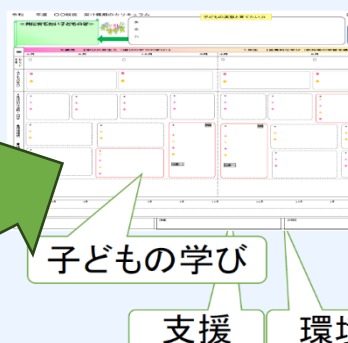
- ①気軽に対話できる教職員関係を構築する。「気軽に対話ができる」ことは連携の基盤ですね！
- ②管理職のリーダーシップのもと、学校・園所のカリキュラム・マネジメントとして取り組む。
- ③「架け橋期のカリキュラム」をつくって終わりではないということ。
- ④「地域の子どもを共に育てる」という意識を醸成する。

ポイント② カリキュラム策定のプロセス

まずは「共に育てたい子どもの姿」をしっかり
話し合って共有することが大切なんだね！



4 校区の実態に即した 学びをつなぐ 架け橋期のカリキュラム



毎年度
反映

ポイント③ 先生方の意識と指導の変容(架け橋期プログラムの成果)

- ①1年生に「もっと任せて大丈夫」という信頼が芽生え、指示を減らし、子どもの主体性を大切にする授業づくりへ変化している。1年生の不登校児童数が減少傾向にある。
- ②小学生にするための教育ではなく、5歳児としての自発的な活動を重視するようになった。
- ③担任同士で直接話をすることで、個々の児童の特性に合わせた具体的な支援方法を早期に構築できている。(個別最適な支援の充実)



園と小学校が積極的に連携していくことで「子どもの不安
を恐れへと変えている」というお言葉が印象的でした。

研修会レポート

「令和8年度幼稚園等教育課程佐賀県協議会」(8月5日)

実践発表 信光幼稚園 副園長 篠塚 勇悟先生



架け橋期の教育の充実に関わる幼児教育施設、小学校、行政、大学の先生方が一堂に会して研修を深められました。

令和5年8月より新聞画

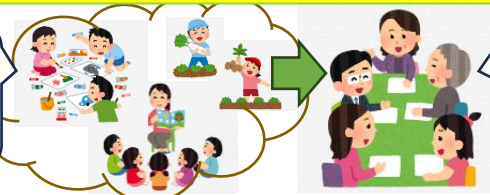


信光幼稚園のご実践を紹介いたします！(ご発表の資料より)

佐賀市架け橋プログラムシートを活用して育てたい子ども像の共有を図る

【小学校の先生の保育参観】

園児の遊びの様子を見て、幼児期の育ちや支援について理解を深められました。



【佐賀市架け橋プログラムシートの活用】

具体的な幼児の姿をもとに援助や指導などについて評価・改善をなされました。

西与賀小学校区の目指す子ども像をもとに、園児と小学生の交流を深める



おもちゃまつり
(年長、2年生)



紙芝居、輪投げ、授業体験
(年長、年中、3年生)



垂直避難訓練
(年長、5年生)



西与賀町たんけん
(園児、2年生、地域の方々)



早くおいでよ！年生
(年長・1年生)

参会者の声

- 各園と小学校が事前の話し合いの機会を十分に計画され、園児と児童の交流や、相互参観、職員同士の交流や「地域で育てたい子どもの姿」に関する情報共有の機会が確保されている点が非常に参考になった。
- 小学生と園児が年間を通して数多く交流していることに加え、その活動に地域が積極的に関わっていることに驚いた。特に、「子どもの成長は、園・学校・地域がつながることで大きくなる」という言葉が印象に残った。
- 幼保小の連携体制をしっかり整えることの重要性や、単なる情報交換で終わらせるのではなく、佐賀市の架け橋プログラムシート等を活用し、実際の子どもの姿や成長が分かる形で共有することで相互理解を深めることの大切さを学んだ。



「旅のはじまりに山ほどの経験を」という園の保育・教育理念が強く感じられたご実践でした。

お知らせ

無藤 隆先生をお迎えして「第2回幼児教育から小学校教育への円滑な接続に向けての研修」を開催いたします

- 1 期 日 令和8年11月6日(金) 13:20~16:30 (13:00~受付)
- 2 場 所 グランデはがくれ フラワーホール
- 3 対象者 幼児教育施設、小学校の先生方、市町教育委員会、福祉部局の担当者 等

講師：無藤 隆先生(白梅学園大学名誉教授)

文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会長、文部科学省中央教育審議会「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」委員長などを歴任。『小学校・中学校・高等学校学習指導要領』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』等の改訂にも深く携わられる。



幼保小連携・接続の進め方や架け橋期のカリキュラム作成について
基礎的なことから分かりやすくコーディネーターがお伝えします

《まずは佐賀県保育幼児教育センター(佐賀県 こども未来課)へお電話などで気軽にご相談ください》

☎ 0952-25-7616

✉ hy-c@pref.saga.lg.jp

様式等は [こちらから](#) ➡

